



同窓会会報平成二十六年秋号

同窓会会長に就任して

同窓会会長 梅田 清永



前会長（1M）久保村昭衛氏が昨年6月に急逝されましたことにより昨年8月、前会長の残任期間中、同窓会会長代行をおおせつかりましたが、本年6月8日に開催された同窓会総会において会長に選任されました。

前会長久保村氏は当同窓会の発展に偉大な功績を残されました。私は、前会長の実績を踏まえ、関係情報を共有し、同窓会の維持・発展のために微力ではありますが尽力しますので、皆様方のご指導・ご鞭撻、御協力のほど、宜しくお願ひ申し上げます。簡単ではありますが就任の挨拶といたします。

就任三年目を迎えて

学校長 佐々木 哲



同窓会員の一万余名の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本校に着任して三年目を迎えた校長の佐々木哲でございます。着任以降同窓会には様々なご支援を頂き感謝の念に堪えません。特に本校公式ホームページリニューアルに向けた経済的支援によって教育活動の成果を校外外に効果的に情報発信できるようになり、生徒の募集活動にも大きな力となっております。また、同窓会会員を講師として招聘した生徒向け進路講話の実施など、在校生が中野工業高校生としての誇りを持てる講演をお聞かせ頂きました。生徒は素晴らしい先輩の後ろ姿に感銘を受け、これを励みに勉学に精進する者も出ております。今後も皆様方の後

輩（在校生）に向けた叱咤・激励の機会を提供して頂ければ幸いです。でございます。

そこで、このたびの会報では平成二十六年度学校経営計画に示した育成目標をご紹介させて頂きます。皆様が今後在校生の為に提案下さる企画についても、育成目標達成の一助としてお考え頂き、在校生が更なる成長を遂げられるような教育資源として御提供下さいますようお願い申し上げます。挨拶と致します。

目指す学校

本校は企業等への就職を目指す学校である。そのために、「あいさつを大事にして職業人としての立ち居振る舞いが出来る生徒」、「就職試験に合格できる学力の定着」を育成目標として掲げ、総合技術科の特色を生かして、教職員が学習指導、進路指導、生活指導等に組織的に取り組む学校を目指す。

- (一) 人権尊重を基盤とした教育活動を推進し、いじめや体罰の無い学校
- (二) 企業や保護者からよるこぼれる態度と能力を身につけた人

材を育てる学校

- (三) 法令を守り社是・社訓、就業規則の内容を理解し適正に職務を遂行できる態度を着実に身につけさせる学校
- (四) 将来、就業先で上司から依頼、指導・助言された内容を素直に履行できる態度を育てる学校
- (五) 各種仕様書をつくれる基礎技能と読み書き計算能力を着実に身につけさせる学校
- (六) 朝、校門に入り、夕刻校門を出るまでの間、「おはようございます」、「こんにちは」、「さようなら」、「お願ひします」、「ありがとうございませす」の挨拶が確実にできる生徒を育てる学校
- (七) 納税の義務を果たし日本国の一員として社会に貢献できる職業人を育てる学校
- (八) 基本的な生活習慣を育成すると共に、規範意識を持った人間を育てる学校
- (九) 自分自身を大切にするとともに、家族や友人を自分と同じように思いやることのできる生徒を育てる学校

以下(省略)・・・原稿による

同窓会諸先輩方へ

26年度PTA会長 皆吉清太郎



同窓会諸先輩方、はじめまして、平成26年度PTA会長の任をいただきました。皆吉清太郎（ミナヨシセイタロウ）です。

勢いでPTAに参加して3年目を迎えております。PTA活動はいつも、右往左往しながらなんとか進んでいる状態です。

同窓会の皆様にはホームページの件、中工祭をはじめ、いつもご尽力いただき誠にありがとうございます。

今年も中工祭にPTAも出店いたします。その名も「まごころ親食道（おやしよくどう）2」。食事と憩いの場のご提供を予定しております。食事はちらし寿司とたこせんというジャンクフードをメニューとして考えております。たこせんは、エビせんべいにソースを引き、あげだま、あおのり、紅シヨウガ、マヨネーズという高カロリーな食べ物となっております。関西出身の先代のPTA会長

が提案しました。このたこせんが高校生、子供には絶大なる人気を誇っております。なかには2枚重ね、3枚重ねなど、希望される在校生もいて、盛り上がる場でもあります。そして、去年から登場しておりますちらし寿司。こちらは学校でご飯を一括購入していただき、中工祭当日にPTAですしネタの元を混ぜ込んで大急ぎで作ります。去年400食ほど作りましたが、さすがに多すぎたため一部が売れ残りそうなピンチ。あと数時間で中工祭が終わるといって、突破りの教室から飛び出た販売を強行し昔の駅弁スタイルで売り歩き完売としましたが、学校側からは私たちが売り歩いている時に、「教室以外での販売はダメです」との指導をうけていたようです。そんな、ルールを逸脱してしまふ時もあります。PTAの団結力には目を見張るものがあります。そんなばたばたした感じでお営業した「まごころ親食道2」の純利益と中工祭で集まった募金とご来店いただいた方にメッセージをお願ひし、東日本大震災で被災した岩手県立宮古工業高校に義援金とメッセージボードをここ2年お送りしております。去年の義援金は5万8000円ほどとなり

宮古高校様へお届けすることができました。宮古高校の校長先生がおっしゃっていたようですが、「忘れられるのがつらい」との事でした。その言葉を胸に刻みこの活動は今後も続けていきたいと思ひます。昨年手渡しすることができなかったため、今年ぜひお顔を拝見できればと思ひています。今年の中工祭は10月25日（土）、26日（日）となっております。同窓会のみなさまもぜひ足を運んでいただき、たこせんなる奇妙な食べ物を食していただければと思ひます。

周年行事準備の声も学校側から聞こえてきております。同窓会諸先輩方のアドバイスをいただきながら周年行事を成功に向けてPTAも微力ながらお力になればと思ひております。

同窓会諸先輩方、先生、PTA、生徒の皆様、地域の方々のお力をお借りして、長く重い歴史を持つたこの中野工業高校PTA会長の任を果たしたいと思ひます。

今後とも何卒ご尽力のほど、よろしくお願ひいたします。

事務局よりのお願ひ

同窓会の活動の様子や、同窓生同志の情報交換の場として、本会報を発行しております。又同窓会の様子は母校のホームページの同窓会のページでご覧になれます。

同窓会活動資金として同窓会各年度（毎年）の会費二千円の納入をお願い致してあり、毎年多くの方々より賛同を戴いておりますがまだまだ少数です。約一万五百名の同窓生の通信費、母校の部活動等の支援に資金が必要です。諸般の事情をご賢察の上、同窓会会員各位におかれましては、各種お知らせの際、同封の払込取扱票にて「会費二千円」を納入して下さる様お願ひ申し上げます。

また、住所移転の際には是非とも事務局までご一報下さる様お願ひ致します。

現在、同窓生の住所の追跡調査をしております。同期・クラスに係なく同窓生の所在が分かる方はご本人の了承を得てからご一報下さる様お願ひ致します。

問合せ先事務局

350-1304

狭山市狭山台2-25-12

田中 正二

Tel : 04-12958-4698

Fax : 04-12958-9729

E-mail : NQD0672@nifty.com

講演会開催のお知らせ

第八回目となる同窓生による

講演会が開催されます。

日時 平成26年12月24日(水)

午前 10時より

場所 母校体育館

講師 第10期F科卒業の

角田 一様

演題 食品の香料について

参加をご希望される方は事務局
まで一報下さい。

連絡先 事務局 田中正二

Tel : 04-2958-4698

E-mail : NQD06772@nifty.com

第七回講演会開催される

「石油会社のもとに半世紀」

8MA 樋口 豊



同窓生による講演会が三年ぶりに再開され、三月十二日三百余名の在校生(三年生を除く)に講演をさせて頂きました。

私は外資系の石油会社で潤滑油のセールス・エンジニアとして四

七年勤務し、六年前六九歳で退職しました。そんな事から、石油産業に於ける半世紀の技術革新をお話し、また健康でさえあれば人間七〇歳まで働けると言う事も伝えたくて演題を「石油会社と共に半世紀」としました。

講演の本来の目的は卒業生の貴重な体験を伝えると言う事ですが、私の仕事は、「機械メーカーとの潤滑油の技術折衝」、「石油製品を納入している顧客への技術支援」、「代理店への技術支援と技術教育」が主な役割でした。

「新しい知識を学びに来ている」在校生には、や、専門すぎる私の体験談よりは、この半世紀の石油産業の技術の進歩についての方が、皆さんのお役にたつのではと考えて、パワーポイントで三〇枚ほどの図版を使いながらそのお話を主体にしました。

私の石油会社での四七年は、「安い原油と熾烈な石油会社の販売競争」(一九六〇年代)、そして一転して「省エネルギー」(一九七〇年代の二度の石油危機で価格高騰)と「資源ナショナルリズム」(一九八〇年代から資源国が石油を国有化)、そして現在「脱石油」

(新興国の石油消費の増大と共に資源の枯渇と価格高騰)と「環境

破壊」(二酸化炭素と地球温暖化)など、全地球的な問題となっており、起伏の激しい半世紀であったと言えます。

石油の歴史は紀元前から灯火などに使われてきました。一八五九年米国で網式機械掘りによる油井採掘に成功して近代石油産業が始まり、石油はランプ用の灯油として使われました。一緒に採掘されるガソリン留分は、爆発的な燃焼を伴うので、川に捨てられて火災などを起こし、くず以下の厄介ものでした。

一八八六年、ドイツのダイムラーとベンツがほぼ同時に発明した自動車によって、捨てられていた厄介者がエンジンの燃料として、最も価値のあるものになりました。

以来、石油は人類が手に入れた最高のエネルギーとして、単に燃料にとどまらず化学原料としても有用で、石油を大量に安く供給する為に、石油の探査、採掘、海底油田開発、原油の回収技術、原油の貯蔵、タンカー、石油精製などで様々な技術革新がありました。在校生にお話ししたほんの一端を書かせて頂きます。

一、石油の探査―①地質探査―石

油を含む地層は六億年〜六千万年前で、中生代(アンモナイトや恐竜が繁栄)が多く、地層中に含まれている古生物を調べて地質年代を測定します。②資源探査―資源探査観測衛星のレーダーで地表の画像を解析しますが、もう人工衛星による地表の解析は終わり、残っているのは深海のみと言われています。

③物理探査(原理は医療の超音波検診と似ている)―地震探査では人工地震を起こし、その地震波を地下に送り、反射して戻って来た反射波のエコーをコンピュータ処理し、地下の三次元断面図を作ることが出来る。その他重力探査、磁力(地磁気)、超音波探査などがあります。

二、石油の採掘―回転式ロータリー掘削機が使われ、ビット(掘削具)が磨滅すると取り替えなければならぬが、一万メートルの掘削では一本一〇メートルのパイプを千本もつなぎはなしをしなければならぬので、容易ではない。

三、海底油田開発―陸上の石油開発の余地がなくなり、東京タワー(三三三メートル)より深い海域で油田を掘削し、プラットフォーム(原油の積み出し基地)が設置されている。更に二千メートルを超す大水深域での油田掘削もしていま

噴やポンプでの汲み上げの回収は二〇〜三〇%です。地下に水やガスを押し込む方法で三〇〜四〇%まで、更に水蒸気や界面活性剤を圧入して原油の粘性を下げる方法などで四〇〜五〇%まで回収出来ます。

五、原油の備蓄―日本の石油使用量は一日六〇万KL(東京ドームの約半分)。国家備蓄が一〇〇日分、民間備蓄が七〇日分で、計一七〇日分を全国一四ヶ所で備蓄。

その他、輸送コストを下げるための「巨大タンカーの出現」。「接触分解装置」(触媒のゼオライトに接触させて、重質油を低分子に分解してガソリン灯・軽油を造る)など石油精製装置の進歩で輸入された原油は捨てるものが無いほどに利用されます。

最後に、潤滑油のエンジニアとして日本の産業界のいろいろの需要家に技術支援をさせて頂いたのですが、一番力を入れていたのが、アルミニウムやステンレスの圧延油で、その性能向上によって圧下率(つぶす割合)を大きく出来たり、圧延速度を上げる事で増産(顧客の利益向上)が出来た事などですが、そうした両業界の卓越したパフォーマンスが「世界最速の圧延機に使われた圧延油」とし

て日・英・仏・独・スペイン語の会社の技術広報誌で世界に宣伝されました。私が直接世界に羽ばたいた訳でなく、広報誌に載って少しばかり世界に羽ばたいただけです。が、前途洋々たる在校生の皆さんには、英語も勉強して頂いて、夢と希望を持って、機会があれば世界に羽ばたいて下さる様、祈念して講演を終わりました。

学院と会社を創業して

10F 角田 一



1959年10F卒の角田と申します。約15年前に化粧品、菓子食品、香料の開発技術を教える国内で唯一の専門学校、日本フレバー・フレグランス学院を運営しております。学習教科のコースは3年の専門課程のほかに大学生のダブル授業や転職希望の社会人のために夜間のビジネス課程もあります。卒業生の主な就職先は、食品、菓子、化粧品、香料会社等となっております。主な職種はフレバーやフレグランスの調香師や菓子、食品、化粧品等の商品開発技

術者となっております。また、同期に創立させた株式会社香料食品技術アカデミーは文字通り香料会社とチューインガム、キャンディ等のOEM事業を骨格に経営を継続させてきております。

高校を出ただけでなぜこれだけの、大変おこがましい限りですが、国内外の誰もが小規模ながらも真似のできない事業をやることのできるようになったのでしょうか。誰もが大変不思議に思われるところですが、結論的などころから簡単に申し上げれば、当方が最初に入社して一年目に配属されたのが当時はまだ明治、森永、グリコ社の下に位置し、今はグローバル企業へと成長したロッテの十名足らずの研究室でした。ここで退職までの十七年間、ただひたすらこなしてきた仕事の中心は、来る日も来る日もチューインガムを噛み続け、消費者に気に入ってもらえる香味の追及でした。取引先の香料会社数社の調香師と共に超一流と言われたグリーンガムやクールミントガムの香りと味の研究に明け暮れ、官能評価技術力を磨き続けてきました。世間一般の化学者レベルの研究には程遠い内容で、当時はとても今のような学院や会社などつくれるとは夢にも思っておりません

でした。しかし、同じことの繰り返しで時間が経つにつれ、自分にはひよっとしたら現在の様に世界レベルのチューインガムやキャンディの商品作りができて香料の調香や化粧品や香水作りが夢物語ではないという自信らしきものが芽生えてきました。そしてその後は思い切って独立し、化粧品店と薬局の経営を手始めにパン、ケーキの製造販売、さらには焼肉店の経営、また異業種のレコードビデオレンタル店の分野から研究技術コンサルタント業務まで幅広く手掛けるようになっていました。この間23年間、約40年もの月日が過ぎていました。そしてその間に自分の中に新たに芽生えてきたことは、これだけ人がやってこれなかった経験、特にロッテ研究の時代に得たガム、キャンディ、アイスクリーム、チョコレート等の商品開発技術、そしてフレバーやフレグランスの調香技術を広く後世に伝えることができないかという夢物語でした。一つの考えは、学校教育機関を作り、技術の伝承を図ることと、もう一つは自身でも菓子食品や化粧品の製造販売会社を経営できないかということでした。そして1999年11月、東京・御茶ノ水に適当な拠点となる場所が

見つかり、即会社設立の運びとなり、翌2000年には念願の調香師育成の専門学院、日本フレーバー・フレグランス学院をスタートさせることができました。そして今年の4月には第11期生が卒業の運びとなり、即戦力ではほぼ100%の就職率達成の運びになっております。講師は花王や長谷川香料、曾田香料、ロッテ、川研ファインケミカル等の一流企業で開発研究に40年前後従事された方々ばかりでした。他には日本でもごく少数

の大学が香粧食学科を運営されていますが、当学院のカリキュラムとは比べものにはならないほど調香実習や菓子、化粧品づくりの実習的時間が少なく、主な就職先の中に香料会社や化粧品会社がないのは驚きそのものでした。大学教授の中には調香師や菓子食品会社出身の方がほとんど存在せず、それも無理ないことかと考えさせられる問題でした。

一方会社経営の方は、過去の長い歴史の中にも存在しないメーカーのものづくりの立場に立った、香料の調香技術と特に一流の菓子類の研究開発技術を兼ね備えた全く新しい形態の香料会社の経営を目指しております。この事業を成功させることにより、即戦力の開発

技術者の育成をどこにも負けない旗印とする日本フレーバー・フレグランス学院の存在は、さらに大きな信頼に基づく発展を遂げていくことになると考えております。

当方が長い人生の中で一番学んだことは、一言でいえば、継続に勝る力はなしという新しい格言らしき体験でした。ぜひ皆様方も男女を問わず何でもこれだと思った価値のある仕事に就いた時はそれを根気よく生涯続けるつもりでやってみてください。途中でやめたら全てが終わりです。何度失敗したりつまづいたりしても、それこそ七転び八起きの精神で頑張ってください。必ず成功という財産があるななのもとにやってきました。高校時代は成績も後から数えた方が早く、劣等感の塊みたいな当方がここまで来れたわけですから、皆様方に可能性がないわけはありません。ぜひ頑張ってください。応援しています。

クラス会便り

10C 大山冬臣

サラリーマン生活を卒業、漸く時間的余裕が生まれ、細々と年賀状をやりとりしていた面々が「集ろうか！」と云う話になり、それ

ぞれが連絡の取れる同級生を誘い合つて、約半世紀ぶりに再発足第一回のクラス会が平成二十三年六月二十八日に、新宿東口の「中村屋」で実現しました。

半世紀振りの再会は、なかなか顔と名前が一致しませんでした。同級生や先生方の話、消息、修学旅行や学校生活の話をしていううちに段々とお互いがはつきりと判るようになり、大いに盛り上ってきたのが忘れられません。

今年で四回目を実施。六月二十四日、新宿東口の「木曾路」で十四名の同級生が集い、賑やかに愉しい一日を過ごしました。

病気が原因で不参加の級友が多いのは非常に残念でなりません。その一方で長い療養生活の甲斐あつて快復、初めて参加してくれた級友、不幸にしてクラス会の一ヶ月前に急逝、奥様から不参加の連絡を戴いた非常に辛いケースもありました。

クラス会の日時を一日勘違いして不参加になってしまった級友もいました。毎回五分間の近況報告を定例にしていますが、毎回元気に姿を見せてくれる級友達と再会できるのは本当に嬉しい限りです。卒業時五十三名でしたが、今連絡が取れるのは三十数名です。こ

のニュースを読んだ級友は是非阿部幹事（090-3241-6883）まで連絡をお願い致します。悲しいニュースがありました。私達の卒業した工業化学科が廃止になったニュースです。

私達が入学した時の実習は、中野駅近くの小学校の一部を借りておりましたが、野方の新校舎に通うようになると、三年生に白衣を着た女子生徒が数名いて、私達の憧れの的であったのも忘れられません。

こうして毎年のクラス会で会えること自体が健康の証であり、まだまだクラス会を続けられることを願っています。



本文の中で工業化学科が廃止とありましたが、平成5年に機械科、食品工業科、工業化学科を廃止し、

総合技術科を設置する。

旧機械科は総合技術科の中に設計製図系と電子機械系の2クラス。旧食品工業科は総合技術科の中に食品工業生産系と食品生物工学系の2クラス。旧工業化学科は生活環境化学系の1クラスとなる。

以上事務局補足説明

平野先生を偲ぶ会開催

14CA 齋藤 満

中野工業を卒業し早や五十二年が過ぎましたが、このたび私達のクラス担任「平野先生」が平成二十五年十月四日に亡くなられました。先生の奥様より連絡があり、我々三人の幹事が代表として十月八日のお通夜に参加しました。

お通夜にはクラス会代表として、金谷君が懐かしい中野工業高校時代の平野先生との思い出をお別れにお話しました。

私たちのクラス会の名前は平野省先生の名前を取って「平省会」にしました。

クラス会は卒業と同時に開催されてきましたが、一時中断してしまいました。ここ十五年程は2年おきに平野先生を囲み開催しています。クラス会は43名の卒業で名簿作成し、最近は約30名に連絡をして

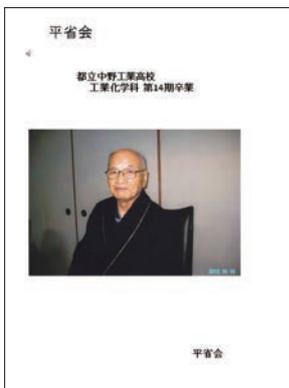
います。20名前後の参加により母校中野区野方駅近辺で平野先生と共に学生時代及び近況を語り合ってきました。過去には母校を見学し、その後懇親会を開催したこともありました。

今回の平野先生を偲ぶ会では学生時代の写真、クラス会時の写真、先生の若い時の写真、御通夜の写真をお借りしDVDに編集しました。

平成二十六年五月二十五日、野方駅近辺のお店でDVDを鑑賞しながら先生の奥様、長男、長女、我々十人、総勢十三名で平野先生を偲ぶ会を開催しました。又同時に今回の会を記念して『平省会』記念アルバムを作成しました。

(このアルバムは同窓会事務局に一部寄贈しました)

先生はお亡くなりになりましたがクラス会は継続して行きたいと思っています。



親友との思い出と共に

22MA 福田要司



一昨年同期の他学科の投稿を拝見し病氣と戦いながら還暦を迎えた学友の投稿を人ごととは思えず、息つまる思いで読み入っていました。還暦は男の厄年、その年私は経済的精神的身体的に最悪な状態だったことを思い出しました。6年前孫の誕生で祖父となりその成長を見守りながら残りの時間を実感しながら生きています。

新卒で中堅カーデラーに就職しましたが描いていたイメージと違いすぎ3ヶ月で退職、アルバイトをしながら次の就活を再開、当時始まったばかりの電算データ

システム会社、都庁などを受験エレクトロニクス関連の輸入業八坂貿易(株)に就職、15年勤務しその後現在の照明器具メーカー(株)和光製作所に就職して25年経ちました。照明器具と言っても家庭の照明器具とは少し異なります。ここに見合ったコンセプトとデザインのあくなき探究による非常にエネルギーを要するハードな仕事です。それらを克服して出来上がりの完成度高さをイメージして制作に打ち込みます。世界遺産、ホテル、ブランドショップなど著名な建造物のライトアップやロボットのシャンデリア、照明器具の復元や制作など手がけております。センチュリーハイアット新宿のロビーの特大シャンデリアは会社設立当時技術の粋を集めての作品で当時のギネスブックの一ページを飾りました。広島、江田島の旧海軍兵学校校舎(現海自幹部候補生学校)の室内照明の多くをリニューアル、昨年リニューアルオープンした東京台東区谷中の朝倉彫塑美術館では明治・大正のシャンデリアを当時の素材、形をできる限り忠実に再現する復元工事に参加厳しい検査後の取り付け立会までお手伝いできました。世界中のホテルやテーマパーク等のシャンデリア、ライ

トアップを制作いたしております。話は中野工業高校時代にさかのぼりますが当時学生運動で生徒会室が封鎖されたり生徒会長のリコールなど前代未聞の事態が起こっていました。任期満了前に新生徒会長の選出となりました。混乱の中、同じ体操部で親友の2MB山田正春さんが立候補され選出されました。私はその時の選挙管理委員長でした。リコールにあたり中工全共闘幹部の彼らとも交友がある私は産学共同路線による工業高校の問題点の糾弾など共感を持てるところも多くリコール選挙をすることに抵抗もありました。しかし生徒会の規約により民主的に実行してしまいました。この壇上で更に同級生の喫煙問題に言及し停学中止を絶叫し引きずり下ろされました。選挙管理委員長職務違反とかで職員室行きでした。更に制服の自由化や全日制、定時制合同文化祭など職員会議を悩ますことのも多い学年でした。ただし選挙は有効で新生徒会長は誕生いたしました。

ともありました。長髪でジーンズでの卒業写真はグループサウンド全盛の思い出です。山田さんとは野方の塩瀬（ソルボンヌ）でのバイトで旅費を稼ぎ卒業記念に山口県と九州一周の貧乏旅行を最後に実社会に飛び込んで行きました。優秀な彼は航空会社に勤務しお互いに英語能力アップのためESSに通ったりしました。二十代後半半相前後して結婚、同じ学年の子供を持つ親同志の立場になっていました。我が家の一姫二太郎に対し男子3人に女子と大家族。家族ぐるみの付き合いが20年以上続いています。十数年前、山田さんは突然不慮の事件で他界されました。ノンキャリアで管理職までなった優秀な人材を失った会社もさることなが、残された家族は悲しみの底から立ち直るには一口で言えないほど大変なことだったと思います。数年前にシンガポールに出張したとき山田正春さんのお姉さまよりシンガポールに「正春の長男がいるので連絡してください」とのコメントを思いだし連絡させていただきました。その夜数年ぶりに出会った彼は世界を駆け巡る国際ビジネスマンに成長していました。還暦とは世代の交代も意味するも

のだと思いました。

得意先のオフィスで打ち合わせを終え3日目の作業の後、3年前に製作したリーフ型の街路灯をチェックしにユニバーサルスタジオへ行きました。破損も無く健在でした。亡くなった親友の息子さんにまさか海外でお世話になるとは夢にも思っても居ませんでしたので、縁（えにし）を深く感じました。長男一家はシンガポールに親子四人で住み現地小学校に通う長女を含め家族全員バイリンガルです。日本の兄弟、妹も皆就職されて元気に暮らしていらっしゃいます。冥福を祈りながら思い出を織り込ませていただきました。

例年の同窓会報への寄稿を読ませていただいておりますが皆様生涯学習を良き友として建設的に活きていらつしやり心地よさを感じられました。私もどこまでできるかわかりませんがそうありたいと思います。

母校ホームページ閲覧のお願い

東京都立中野工業高等学校で検索して下さい。

学校の様子・同窓会の様子・PTAの様子等が分かります。



平成26年度総会資料

平成25年度事業報告

活動目標であった

1. 同窓会会報の発行。10月25日に発行する事が出来ました。
講演会の開催。 3月12日に開催する事が出来ました。
2. 行事（催し事）。
 - (1) 平成25年4月9日 母校入学式 2名出席 於:母校体育館
 - (2) 4月21日 役員会 8名出席 於:母校校長室
24年度収支決算及び25年度予算案の検討、総会に関し検討、その他
 - (3) 6月2日 24年度同窓会総会 26名出席 於:グランドパレスホテル
 - (4) 6月30日 役員会 10名出席 於:母校校長室
故久保村会長後任人事に関する検討
梅田清永様が会長代行に就任する
 - (5) 8月4日 役員会 6名出席 於:母校校長室
講演会に関する検討
 - (6) 9月27日 体育祭 2名出席 於:母校校庭
 - (7) 10月26・27日 中工祭（卒業生の歩み出展） 於:母校
 - (8) 12月8日 役員会 8名参加 於:グランドパレスホテル
会報発行の件、その他
 - (10) 2月2日 故久保村会長に感謝の集い（新春交歓会）
22名出席 於:グランドパレスホテル
 - (11) 3月8日 母校卒業証書授与式 2名出席 於:母校体育館
 - (12) 3月12日 講演会 講師 8M 樋口豊さん 於:母校体育館
演題目 「石油会社のもとに半世紀」 11名出席

平成25年度収支決算書

収入の部			
入会金	63.000.	3.000. × 21名	
会費	626.000.	2.000. × 313名	
寄附金	248.000.	寸志も含む	
臨時会費	252.000.	総会、役員会、新春交歓会	
預金利子	229.		
小計	1.189.229.		
前期繰越金	1.269.006.		
合計	2.458.235.		
支出の部			
行事費	111.283.	中工祭、講演会、故久保村会長に感謝の集い（新春交歓会を兼ねる）	
会議費	171.085.	総会、役員会	
通信費	96.550.		
会報費	510.815.	会報印刷、送送料（H24年秋号）	
会報費	596.131.	会報印刷、送送料（H25年秋号）	
慶弔費	20.000.	故久保村会長（ご香料）、草開顧問（お見舞い）	
同窓会入会記念品費	40.687.	校章、同窓会名入りバスタオル	
体育祭参加賞費	89.775.	レポート用紙	
事務用品費	7.680.		
ホームページ費	57.960.	母校のホームページサポート料	
振込み手数料	38.600.		
小計	1.740.566.		
次期繰越金	717.669.	内訳 三菱東京 198.293.	
合計	2.458.235.	ゆうちょ銀行 452.325.	
		現金 67.051.	

収支決算について上記の通り報告致します。

平成26年4月6日 会計 中村 真一㊟ 会計 島田 勝利㊟

収支決算について関係書類を監査した結果、適正に処理されている事を認めます。

平成25年4月13日 会計監査 西村 満郎㊟ 会計監査 江野下 健二㊟

平成26年度事業計画（案）

基本計画

基本的には前年度を踏襲するが、さらに親睦を深め母校への支援を強化していく。会報の発行、文化祭への「卒業生の歩み」を充実していく。

1. 同窓会会員の親睦を一層深めるため、おおいにアピールをする。
2. 同窓会会報の発行。
3. 講演会の定時開催。
4. 行事（催し事）。
 - (1) 母校入学式（4月8日）（同窓会より3名出席済み）
 - (2) 平成26年度定時総会（6月8日）
 - (3) 母校体育祭（9月下旬）
 - (4) 母校文化祭（中工祭）（11月2・3日）卒業生の歩み出展
 - (5) 講演会（12月下旬）
 - (6) 新春交歓会（2月上旬）
 - (7) 母校卒業証書授与式（3月上旬）
 - (8) 役員会の随時開催（2ヶ月に1回程度）

平成26年度収支予算（案）

収入の部			
会費	650.000.	2.000. × 325名	
寄附金	250.000.		
臨時会費	250.000.		
入会金	90.000.	3.000. × 30名	
前期繰越金	717.669.		
合計	1.957.669.		
支出の部			
行事費	150.000.	中工祭、新春交歓会、その他	
会議費	200.000.	総会、役員会、新会員歓迎会、その他	
通信費	90.000.	各種案内、その他	
会報費	600.000.	会報印刷、送送料	
事務用品費	10.000.		
同窓会入会記念品代	40.000.		
体育祭参加賞費	90.000.		
ホームページ費	60.000.		
振込み手数料	35.000.		
予備費	682.669.		
合計	1.957.669.		

平成26年度 役員改選候補者（敬称略）案

任期平成26年4月1日～平成28年6月総会開催日迄

会長	10MB	梅田 清永	
副会長	3F	海野 清	総務担当
々	7MA	島田 勝利	広報担当
事務局長	7MA	田中 正二	
会計	7C	中村 真一	
々	10MA	渡邊 修也	
会計監査	17MA	西村 満郎	
々	17FB	江野下 健二	
参与	1M	渡邊 和義	
幹事	3M	桑原 昭四郎	
々	6M	大木 公茂	
々	8MB	三浦 政勝	
々	9MA	吉原 忠一	
々	10MA	池田 和司	
々	11CB	渡邊 信義	
々	14MB	泊 幸一郎	
々	15MA	塚田 清秀	
々	18CB	左巻 健男	
顧問		草開 省三（旧職員）	
々		大賀 文博（旧職員）	
々		萩原 和夫（元学長）	